令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

県道南新井前橋線（４期工区）バイパス整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

・駒寄スマートICへのアクセス向上が期待される。（地元住民）
・歩行者、自転車の安全性向上が期待される。（学校関係者、地元企業）

事業前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な走行に支障をきたしています。

事業前の状況

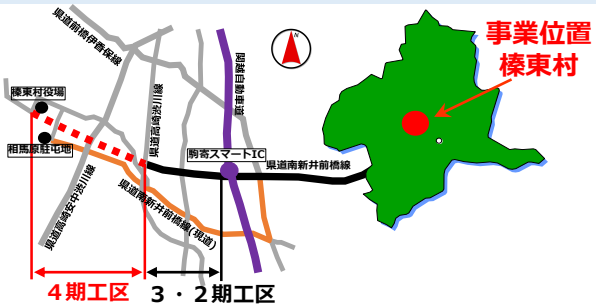
事業後

◆バイパスが整備され、一般車をはじめ自衛隊車両等の緊急車両も駒寄スマートＩＣへの円滑な走行が可能になります。
◆両側に歩道が整備され、子どもたちの安全な通行空間が確保されます。

事業後のイメージ（一例）

事業の概要

■ 事業箇所：北群馬郡榛東村新井地内
■ 事業内容：バイパス整備 延長2.6km 道路幅12.5m
■ 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

用地の取得が完了した箇所から順次道路改良工事を進めています。
令和６年度は継続して用地買収、道路改良工事、橋梁工事を推進します。

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――●・・・